

## 人権・民族と教育分散会は休止します

「生徒と共にかんがえる日本の少数民族」という本を刊行するなど、北海道の教科研活動において人権問題の最重要課題としてアイヌを取り上げてきた「人権・民族と教育分散会」ですが、長年にわたる活動の末、共同研究者・司会者の高齢化により、今年度から休止することとなりました。

なお、全道合研は「平和を守り真実をつらぬく民主教育の確立をめざして」のスローガンのもと、次のように参加を呼びかけています。

1. 戦後 80 年を迎えた今、子どもたちに平和な未来を手渡すため、子ども・教職員・地域の人々の平和のとりくみについて学び、語り合しましょう。
2. 貧困と格差が広がる中で、子どもや若者の豊かな成長・発達のために何ができるか語り合しましょう。
3. 憲法と子どもの権利条約が生きて輝く教育・学校・社会について学び、語り合しましょう。
4. 学問と教育の自由を守り、教職員が希望をもって教育できる学校の姿を語り合しましょう。

今後は「人権・民族と教育分散会」としてではなく、「人権問題・人権教育」をテーマとした交流の場を模索していきます。

また、今年度は特にアイヌに関する課題を取り上げていく予定です。